

平成27年度第1回人吉市子ども・子育て会議 議事録

1 日 時 平成27年9月28日(月) 14時00分～15時23分

2 場 所 人吉市役所3階議員控室

3 出席者(13名)

会 長	中島 靖	副会長	山縣 仗子
委 員	宮本 稔也	委 員	山口 眞一
委 員	尾方 節	委 員	増田 隆二
委 員	平山 猛	委 員	渡辺 美雪
委 員	眞田 正博	委 員	中津留敏之
委 員	松舟 政浩	委 員	星野 謙二
委 員	涌水 邦英		

欠席者(2名)

委 員 高三瀨 晋 委 員 長船 法文
事務局

健康福祉部長	松岡 誠也
健康福祉部次長	村口 桂子
福祉課長	溝口 尚也
福祉課児童福祉係長	田中 裕一
福祉課児童福祉係主事	淵田 晃幸
保健センター次長	大柿 伸子
学校教育課長指導主事	梶原 哲朗
学校教育課教育係 課長補佐	古賀 眞司
社会教育課課長	秋永 敦
社会教育課生涯学習係長	山田美智子
社会教育課 社会教育指導員	平井ゆきの

4 会議内容

委嘱状交付

市長あいさつ

(1) 会長あいさつ

(2) 議題

①次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)
について(資料1)

②子ども・子育て支援事業計画について
・事業進捗状況について(資料2)

保育園から認定こども園への移行
利用者支援事業の開始
・進捗状況表について（資料3）

(3) その他

5 発言要旨

- (1) 事務局で開会
- (2) 選出団体等の役員の交代による委嘱状交付
- (3) 市長あいさつ
- (4) 会長あいさつ
- (5) 議題 ①について次世代育成支援行動計画（後期）実績報告（平成26年度）について

会 長 : ①次世代育成支援行動計画（後期）実績報告（平成26年度）についてお願いします。

事務局 : 次世代育成支援行動計画（後期）の実績報告をさせていただきます。本日は3名の方が新しく委員になっていらっしゃいますので、みなさんには何回もこの冊子の方はお配りしていると思いますが、今日も配布をさせていただいております。

この中の4ページを開けていただきたいと思います。

4ページに具体的取組というところで①安心して産み育てられるまちづくり②子育てを地域で支えるまちづくり 1ページ開いていただいて、5ページです。③家庭と仕事が両立できるまちづくり④心身ともにたくましい子どもが育つまちづくり6ページです。

⑤子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりということで5つの大きな柱を立てまして、そこに向かうそれぞれの軸の事業を行ってまいりました。それについて、平成22年度から26年度までの5年間でやってきた最終年度の実績報告を今からさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

資料の1という冊子を見ていただければと思います。

人吉市次世代育成支援行動計画（後期計画）重点事業実施事業状況平成26年度実績というものでございます。12ページほど両面刷りで書いておりますけれども、主要な部分についてのみご報告をさせていただきます。

まず1番 安心して産み育てられるまちづくりということで、ナンバー1 母子父子健康手帳交付および両親学級、母性父性の意識を高め、妊娠出産に関する情報提供ということで後期の目標として、

父親の参加率、両親学級への参加率を30パーセントという目標を立てておりました。

達成状況としましては、22パーセントということで届きませんでしたけれども、年間24回実施し、303件の母子手帳交付者に対し、両親学級参加者、208件そのうち父親の参加が65人ありました。両親学級に参加してくれた父親からは、子育てに前向きな意見がもたらえたということで、今後も参加しやすい両親学級を検討していくようにしたいと考えております。

2番 育児学級 保育園、幼稚園、小学校などで育児・食育・歯科指導実施、こちらの方は後期の目標は20回と目標を立てておまして、昨年度26年度は63回を行っております。

保育園、幼稚園、小学校への虫歯予防、BPプログラム等で63回実施となっております。

2ページをご覧ください。

ナンバー4 乳児家庭全戸訪問事業 生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、情報提供や助言を行う。後期の目標は90パーセントと立てておりました。平成26年度は達成状態96パーセントです。

出生後、主に1か月の乳児に対し、助産師及び保健師にて、乳児家庭全戸訪問を実施しております。280件中268件に情報提供や助言を行っております。訪問できなかった12人につきましては来所相談、里帰りにて、その後面会できました。

1ページめくっていただいて5ページをご覧ください。

子育てを地域で支えるまちづくりのところでナンバー12つどの広場事業を行っております。保護者と子どもたちが気軽に交流できる場を設置し、相談や子育て情報の提供を行う。後期の目標としましては、1か所を目標としており、九日町にごございます九ちゃんクラブで現在も行っているところでございます。

26年度の実績としましては、ほっとステーション九ちゃんクラブの機能を発展させ、利用者と地域住民との交流をはかるため、おでかけ九ちゃんを実施しております。地域の民生委員等にも参加をいただき、情報の共有を図っております。

また、イクメン講座を実施し、子育て中のお父さんの悩み・相談や情報提供をすることができました。各校区のコミセン等にお邪魔しまして、そこに子育て中の方に参加していただき、地域を散歩する等、民生委員の皆様方にも参加をいただいて実施をしております。

イクメン講座につきましては、子育て中のお父さんに対し、悩み等を尋ねるとともにクッキングパパと題してお父さんに料理をしていただいて、奥さんや子どもに食べていただくというような企画を実施しております。

ナンバー14 保育サポーター養成講座 子育て支援の担い手確保のため、専門的な子育て支援技術を習得する養成講座を実施しております。こちらのほうは後期目標40人確保することを目指しておりますけれども26年度現在で28人登録がっております。26年度の実績としましては養成講座に3名の受講がありまして3人がサポーターとして登録をしていただいた状況となっております。

1ページ開いていただいて、6ページをご覧ください。

ナンバー15 あいさつ運動の実施 学校や地域で子どもたちと笑顔であいさつをかわし、住民同士が声をかけあうあいさつ運動を実施しております。こちらの方は目標全校区、達成状態も全校区で実施しております。

それから、7ページのナンバー16 学校支援活動

夏季休業日や放課後を使って、地域の教育力を活用した児童生徒の学力の向上を目指した取り組みを推進する。

後期目標では26年度全校区をあげておりまして、26年度の達成状況も全校区行っております。26年度の実績として夏季休業日は市内の小学校3年生、放課後は、4～6年生の希望者を対象に学力向上のためパワーアップ教室を開講しました。また、小学校2年生の希望者を対象に、花まる学習会の教材を活用して基礎学力の向上、考える力の育成を行う人吉市花まる教室を実施しております。

ナンバー17 ファミリーサポートセンター事業 一時的に子どもを預ける必要があるとき、地域において預かりを行う相互援助活動を実施しております。後期目標が1か所で、平成26年度までに1か所で達成をしております。

こちらの事業は人吉市社会福祉協議会に委託し、ファミリーサポートセンターということで設置しており、現在の会員数が148人、年間利用件数229件となっております。

1ページ開けていただいて9ページお願いします。

ナンバー21番 病児病後児保育事業 就学前～小学校低学年児童

が病気により保育園等に預けられない時、預かりを行う事業です。後期目標1か所を立てており、現在のところ1か所となっております。26年度の実績につきましては、628人の方がご利用いただいております。それまでの利用実績としましては平成22年度が944人、23年度873人、24年度641人、25年度767人でした。感染症等の流行等により利用者が若干増減するところがございますけれども700人近い利用がある現状でございます。

開けていただいて10ページをご覧ください。

心身ともにたくましい子どもが育つまちづくりということで、ナンバー24 歯科保健指導事業

市内保育園、幼稚園、小学校を歯科衛生士が巡回し、歯磨きの指導等を行う。後期目標は、年22回としておりました。平成26年度年29回行っております。フッ素洗口事業が、小中学校全校・保育園3園がはじまりました。それに関連する口腔に関する健康教育が随時依頼により29回実施しました。

11ページをご覧ください。

ナンバー27 家庭教育学級 保育園、幼稚園、小中学校において保護者に対し家庭教育の重要性について学習する機会を提供する。後期目標は年25回でございました。達成状況としましては、実施回数は21回、指定校数は15校となっております。

指定校数：9幼稚園保育園、6小学校中学校の計15校です。実施回数は、21回、小中合同で講演会を実施し、広く市民の参加も可能にしております。

最後のページ12ページを開けてください。

子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりということで、ナンバー30 児童館代替施設の整備というものを計画の中に挙げておりましたけれどもこちらの方は、児童館の代替施設の検討をしてきましたが、實際上それになり得るような施設をみつけることができませんでした。26年度も未実施ということになりました。

以上簡単ではございますけれども次世代育成支援行動計画の26年度の実績を報告させていただきます。

会 長 : ありがとうございます。

ただいまの資料1につきまして何か皆様方からご質問等はございませんでしょうか。何か聞きたいことございましたらお願いしたいと

思います。

全委員 : なし。

会 長 : それでは2番目子ども・子育て支援事業計画について事務局からお願いします。

事務局 : それでは、資料2を見ていただければと思います。A4 1枚の資料になります。

昨年度みなさまに人吉市子ども・子育て支援事業計画という冊子の作成にあたり長きに渡りご審議をいただいたところですが、それに伴って資料2のところでは、27年度にどこまで進んでいるかについてご報告をさせていただきたいと思います。

まず、先ほどのごあいさつの中でもございましたけれども認定こども園への移行というところで、人吉市の私立保育園13園ございますけれども平成27年の4月に私立保育園から4園、認定こども園に移行をしております。

それから、平成27年9月私立保育園から1園認定こども園に移行しております。もともとこの5園につきましては、平成27年度4月の段階で認定こども園に移行する予定でございましたけれども1園、施設整備を行っていた関係で、建物が完成しなかったとこに伴い、認可する期間が9月まで延びたということになります。

私立幼稚園の状況によりましては、平成27年度の移行はございません。今までどおり私学助成における私立幼稚園として、残られるという申し出が出ておりますので、幼稚園として残られております。

平成27年度4月からの子ども・子育て支援新制度になりまして、幼稚園、保育園のいいところを合わせもつ認定こども園の普及を目指していきたいと考えております。保育園は5園移行しまして、幼稚園については、まだ変化がないというような状況になっております。

認定こども園ができれば、何が変わるのかということですが、基本的には、利用する保護者の皆様に特段大きく変わることはございません。保護者の皆様の選択の幅が広がると考えております。

平成27年の7月に私立保育園13園と、私立幼稚園3園に意向調査をさせていただいております。その中で出てきたものをご報告

させていただきたいと思えます。これはあくまで意向調査ですので、こうならなければいけないというものではございません。私立保育園13園のうち、5園につきましては認定こども園に変わられましたので、そのままいきたいというご回答がございました。残りの8園について、平成28年度につきましては移行は考えてないと回答をいただいております。

平成29年度に2園、平成30年度に2園、平成31年度には移行はしないと回答されています。この4園を認定こども園に移行した場合には、人吉市で認定こども園は9園誕生するような形になりますけれども、子どもの出生状況を勘案しながら、利用定員の設定等を施設側と話しながら事業を進めていきたいと考えております。

それから、私立幼稚園についても新制度への移行ということで、意向調査を行っております。

平成28年度は、人吉市にございます、3園の私立幼稚園からは移行はしないというような回答がっております。平成29年度以降はどうでしょうかという問いに、1園は、現時点では、移行予定はないが状況によりあり得ますというご回答、もう1園は状況により判断をしたいというご回答、もう1園は、移行する方向で検討をしたいという回答をいただきました。

平成29年度に市内幼稚園の1園が認定こども園もしくは、幼稚園のまま新制度に入ってくるのかなと考えているところでございます。

それと2番の利用者支援事業についてでございます。こちらにつきましては、子ども子育て支援事業計画を策定していただくニーズ調査の結果の中に、子育てに関する相談窓口とか、申請書の書き方を教えてくれるような窓口があった方がいいという意見が多数寄せられておりました。

今回の子ども・子育て事業計画の中で、子育てをするお母さん目線の相談窓口を作りたいということで平成27年の4月に窓口を開設しております。場所につきましては、九日町の九ちゃんクラブです。

そこでは、子育てに関する相談の受付が、9月現在までの平均で、10件弱の相談を受けているところです。

九ちゃんクラブの利用者だけではなく、九ちゃんクラブを利用していないけれども悩みがある方や子どもをどこに預けたらいいんだろう等相談員に寄せられておりますので開設した意味はあったと考えております。ただ、広報やインターネット、ホームページではお知らせをしておりますけれども、まだ周知不足な面があります。

相談員と児童福祉係で民生委員さんの例会にお邪魔をしたり、保育園連盟の園長会の方にお邪魔をさせていただいたり、両親学級に向いて行ったりして、相談窓口を開設しておりますので、何か悩みがあったり、もしくは書き方がわからないということがあれば、ご利用をお願いしますということで、各団体を訪問させていただいているところでございます。

気軽に雑談の中からどうすればいいんだろうという様な相談がいっぱい出てくることを期待しているところでございます。

地域の子育てサービスに関しても人吉市にはどういうものがあるかというのをおわせて紹介をさせていただいているところでございます。なかなかまだ行き届かないところもあるとは思いますが、今後そういうのが充実していくように質を高めていきたいと思っております。それと、各種書類の作成補助ということで、保育園への入所の際に書く申請書等について、役所の窓口では慌ただしいので、相談窓口の相談員にも書いてほしいところをお伝えし対応していきたいと考えております。今現在計画の中で進めているのは、以上2つになります。

会 長 : はい、ありがとうございました。

資料2につきまして進捗状況を説明していただきました。認定こども園への移行、それからその中で私立保育園の状況、27年度の7月に意向調査をされて移行したいという3園のそれぞれ現状が資料に書いてございますとおりです。それから利用者支援事業について今後いろんなことについて充実周知徹底させていきたいということでございました。

なにか皆様方の方から質問、資料2につきましてございましたらお願いします。

涌水委員 : よろしいですか？

幼稚園の代表をしてるんですけど、認定こども園にわたしたちは関心がありまして、3園でいろいろ会うたびに話し合いしてるんですけど、保護者の出費は高くなると、その関係でどうしてもそのなかなかふんぎりがつかない。安倍総理は、幼稚園以下の施設は無料にするということを言ってましたね。無料になりますとまた保護者の考えは違うんじゃないかとわたしは一人で思っておるんですけど。結局その4万2千ということでしたけれども、幼稚園の場合はもう

2万円以下しかとっておりませんので、やっぱそれが認定こども園にしたらいっぱいになると、出費がですね。だから、そこらあたりの踏ん切りがどうしてもつかないというのが一番のわたしたちの思いであります。また文科省が家庭教育ということを昔、昔じゃないけどもさかんに幼児教育とは10時から2時までにするのと、あとは家庭内教育ということが非常に大切だと。その家庭内教育というのがどこに行ってしまうんだらうかと。

結局ね、朝早くから夕方までお預かりすると。そうなりますと家庭の教育というのはできなくなってくると、だからその家庭というのはやっぱり家庭でないとできないことなんです。いくら園でやろうと思ってもそれはちょっと無理なことだとわたしは常に思っております。そこらあたりやっぱり文科省からの指導とかそういうはっきりしたものができますと、また考えも変わってくるんじゃないかと思いきや。

しかし、出費というものが一番痛みような気がします。

それぐらいですか。だからいつ変わるとかそういうのはなかなか出てきてないような状況です。

事務局 : 保育料ですけれども4万2千円というのは、保育の2号3号の方の金額です。1号の金額は一番高い金額で25,700円になってますので、です、おっしゃるとおり今3園がもらわれてるのは16,000円から22,000円の間でとられてるので、移行すれば22,000円今まで払っていた方が25,700円になる人もいたとは思いますが、今回の制度は保育料につきましては、所得階層に階段をつけてますので、そのところは、ご理解をいただければと思っております。

もし、幼稚園が認定こども園、もしくは幼稚園で新制度に入られるような話になれば、市からも保護者の皆様に保育料の説明に行きたいと思っております。

実際に、保育園の13園の皆様には今年の2月、3月に新制度の説明ということで13園を回らせていただいております。

涌水委員 : またよろしく申し上げます。

事務局 : はい。

もうひとつ家庭教育の部分につきましては、おっしゃるとおりだと思います。ただ、この子ども・子育て支援新制度は都市部においては待機児童解消のために2号・3号の保育の定員を増やそうという試みです。本市のように待機児童がいない地域においては、利用

者の選択の幅を広げてく等サービスの充実を行うものです。
国が女性の活躍をとということを言っておりますので、女性の社会進出が進めば、今後も保育の需要が増えると感じているところです。
しかしながら、家庭が一番大事な教育の最小単位であることは間違いないと思っております。

涌水委員：それじゃあの、結局その預かる時間をひとつ園長会じゃね、出てるわけです。それとあのですね、去年が保育所で窒息死、0歳児2百何名でしたか、が出てます。そういうときの保障ていうのはどこがするのかそういう話等も出ております。だから、寝てしまって鼻詰めて、亡くなったと。ていうのを、事例がだいぶあるみたいで。そういうこと等の怖さと申しますか、そういうものがあります。だからそこあたりもそういうことが起きた場合は、国が全部保障するのか、全然まだそれは決まってないみたいですから、文科省からね、認定こども園にしなさいと親もいいし、園もいいですよとメッセージ等が何もありませんよ。だからわたし、そういう国がやっとするようだったら文科省もそういうことをするべきじゃないかなと思うんですけど。全然出てないでしょ。ただだまってほっとけばいいという考えなんだろうかと園長会での話では出ています。以上でございます。

会 長：ありがとうございます。

涌水委員：すいません

会 長：だいぶいろいろあると思いますけど、その他何か。
はい、どなたかありませんか。

平山委員：2番の利用者支援事業のところ、地域の子育てサービス紹介ということであるんですが、あとから進捗が出てくるかと思いますが、どういう風な形態でやられているのかと。口頭だけなのかパンフレットとかが作ってあるのかと。そういうことを教えてください。

事務局：はい。
利用者支援事業のパンフレットを作ってその中にメニューが掲載させていただいているところです。また、今それぞれの団体を相談員と回らせていただいているところです。先生の子育て支援センターにも、行かせていただきたいと思いますと思っております。
半年が経過するんですけども、なかなかうまく浸透しない部分も

ございまして、委員の皆様にも広めていただきたいと思います。
また、小学校等にも行かないといけないかなと思っております。
以上です。

会 長 : よろしいでしょうか。その他何かありませんか。

涌水委員 : 九ちゃんクラブというのは、毎日開設しているんですか？

事務局 : はい。水曜日と土曜・日曜以外は開設をしております。

涌水委員 : 水土日ですね？

事務局 : はい。

涌水委員 : ありがとうございます。

会 長 : そのほか何か？ありませんでしょうか？
資料2につきましては以上でよろしいでしょうか。

全委員 : なし。

会 長 : 次に進ませていただきます。
それでは次は資料の3についてお願いします。

事務局 : はい。資料の3をご覧ください。皆様に策定していただいた子ども・子育て支援事業計画の中で具体的に取り組む事業を1ページから8ページまでにまとめさせていただいております。
事業名、部署はどこがするのか、平成25年度の実績、平成31年度の目標値、それと平成27年度、28年度、29年度、30年度と書いておりますけれどもそれぞれここに、今年11月末の実績を把握して、数字を入れて次回皆様へ報告をさせていただきたいと思っております。事業の進捗状況を、一目でわかるようにこの進捗表で管理をしていきたいと考えております。

1ページ目、支援事業計画は、五つの目標を立てておりまして1ページが安心して子育てできる環境づくりということで、質の高い教育・保育の総合的な提供というところで、認定こども園の普及や利用者支援事業の開設を計画しています。

2番のところで、子どもや母親、妊婦への健康支援というところで、先ほどご報告いたしました次世代後期計画で推進してきたことも継

続いて子ども子育て支援事業計画の中でも推進していきます。
策定するにあたり、子ども・子育て支援事業計画は次世代計画も引き継いで行いますということで、策定をさせていただいたところで
すので、そのようにしていきたいと思っております。

4ページを開けていただいてよろしいでしょうか？

2つ目の目標としまして、子育てを地域で支える環境づくりということで、交流の場の提供、保育サポーターの養成、あいさつ運動の実施、要保護児童対策協議会充実というのをあげてます。

5ページ目 子育てと仕事が両立できる環境づくりということでワークライフバランスの推進、男性の育児参加の促進、保育サービスの充実、この5ページのところがですね、実行するにしても一番難しい部分でございまして、でもここをやらないといま国等でも議論されている人口減少に対応できないのではないかと考えているところです。

女性の社会進出を促すのであれば、ワークライフバランスがとれてないといけないし、保育サービスも充実してないといけない。出生数を改善するためには、男性の働き方の改革、育児参加の促進も欠かせないということでございます。

保育サービスの充実につきましては、認定こども園、保育園、幼稚園等施設の園長先生方といろいろ話し合いながら、人吉市でできること、人吉市のニーズが高いものを選びながら、推進していきたいと思っております。

男性の育児参加促進につきましては、次世代計画の中でも推進しているんですけれども、今回の計画では、年に1回は、事業所に対して、情報発信、お父さんたちとの会合を実現させたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

1ページ開けていただいて6ページをご覧ください。

子どもの健やかな成長に向けた環境作りということで、子どもの心と体の健康づくり、生きる力の育成、自覚と責任ある親育ちの支援、体験機会の提供ということで、次世代の行動計画を継続しながら、推進をしていきたいと思っております。

最後のページ8ページをご覧ください。

5つ目の目標 子ども子育て家庭に安心安全な環境づくりということで、事故や犯罪から子どもを守る体制整備、虐待いじめから子どもを守る体制整備、安心して遊べる施設の整備を推進していきたいと思っております。

冒頭にも申しました通り、11月ぐらいの数値を平成27年度の欄に記入し、次回の子ども・子育て会議の際にご報告をさせていただ

きたいと思っております。以上です。

会 長 : ありがとうございます。具体的な取り組みにつきましてそれぞれ安心して進めていく環境づくりを5つにわたり報告されましたけれども、みなさん方から何かありませんか。数値については、11月の実績値を次回の会議で報告するというところでございます。

宮本委員 : 家庭裁判所における離婚調停の件数が、年々数が増えています。正直倍々ゲームで増えています。特に、サーティー・フォーティークライシス35歳から45歳くらいのお父さんお母さんたちの年齢層で離婚調停申し立ての数が増えています。
このあたりを考察していただくと、離婚というのは個人の選択になるんですけども、以前はもうちょっと社会的とか家庭的に防げないか、もう少し元のさやにおさまらないかということを含めてしていただくとですね、いわゆる離婚することによって結構女性貧困化の方に結び付く可能性非常に高い。それがまたあの子どもの貧困、女性の貧困が子どもの虐待とか入ってたりして、家庭の価値観というか、なかなか踏み込みづらいところなんですけど、このワークライフバランスの中で、いろんな講演とか研究とかそういった視点でいろいろ施策をしていただくことを、環境づくりとかという風に考えております。

会 長 : はい。ありがとうございます。
これからいろいろな報告等の中でいただきたいと思えます。

増田委員 : 質問いいですか？
5ページで保育サービスの充実のところの、放課後児童健全育成事業これは学童保育ですか。その最近というか、障害児の施設で放課後等デイサービスというのは、福祉関係ですか？

事務局 : 福祉関係ではあります。

増田委員 : 最近新しくできてますよね？

事務局 : 福祉課障がい者支援係が担当しております。

増田委員 : 今後の計画の中で取り上げてほしい。

事務局 : 障がいのある子どもへの支援ということで入ってきます。考え

ていかなきゃいけない部分です。

増田委員：把握するために入れていかれるのかなと思ひまして。

事務局：わかりました。ニーズの把握ですね。

今の件は、障がい者計画の方に入っていますので、関連計画でもありますので、子ども・子育て支援事業計画のなかでも把握をしたいと思ひます。

平山委員：保育園連盟平山です。4点です。

さきほどもおっしゃってましたけど、放課後等児童デイサービス、それは保育園でそういう大きな子どもさんとかですねが小学校に行かれて、そのあとの放課後の生活がどうなっているのかなていうのがやはり心配をしているところで、事業所が増えられて受け入れをされていくということは、好ましいことかなと思ひますが、計画が違ふようなことも言われていましたが、子ども子育て支援事業計画には入れるべきじゃないかと思ひます。ていうのが、根拠になっている子育て支援法にもですね、障がい、子どもは18歳までと規定されてますし、その中には、障がい児のことも書いてありますので、これもちょっと含めた中での計画にして、これ作ったときにはその話出てなかったの、人吉でそういう事業所ができる情報とかですね、わたしも知らなかったの、そういう事業自体は24年からあったんですけど人吉市ではないのかなと思ひていたら、実際始まったの、ということは計画変えないといけないんじゃないかという気もしています。同時にですね、さきほど宮本委員の方から、子どもの貧困につながるような家庭の状況、ひとり親家庭支援の状況も実際人吉市がどうなのかっていうのがなかなか見えてこないところがあるので、われわれ保育園は預けてらっしゃるところしか見えないので、その保育園にも預けられないようなご家庭ていうのはなかなか見えない状況もありまして、そういったところにはやっぱり市としてやっていくべきじゃないかなと思ひてます。そういったところをですね、計画の中に入れていただければ、我々としてもやっていきやすいんじゃないかなと思ひたりもしています。それは2点で、3点目はですね、そういう事業ができたりとか、新しい認定こども園になったりとかですね、保育所だったり、幼稚園だったり小学校との連携とかいろいろあつてまたその他にも学校における学校SWの方々とのつながりですね、そういった主体との連携というの、も全体的として、人吉市として把握をしとく、または周知をしとく。地域の方々もどういふ風なことがあつてるのか、どういふことをさ

れるのか、保育園は保育園、幼稚園は幼稚園、学校は学校みたいなバラバラなのか、そうじゃないのか、そういったことも含めてそのそういう事業所、いろんなところも連携する会の計画とかですね、そういったことも入れていった方がいいんじゃないかなと思います。この計画は子どものですけどもいろんな障がいとか、高齢とか福祉とか計画があつてどんどん包括的にみんながこう協力しながら事業を進めていこうとどんどん進めているみたいなので、そういう連携の計画をですね、必要なんじゃないかなと思いました。そういったのがどうなのかなと。

4つ目というかですね。ひとり親家庭と、障がいと連携といったことをができればいいなど、で、計画見直しですね。ふた開けてみていろいろ変わったことがあるんで、見直し等考えていらっしゃるかということも聞きたいと思います、

事務局 : はい。1点目が子どもの貧困はおっしゃるとおり日本は比率が高く、6人に一人は貧困だという風な数値は出ております。それから、委員のみなさまからのご指摘のとおり、離婚された母子家庭の子どもさんは、相対的に貧困になる可能性が高い推計も出ています。OECDが言っている貧困線というのがありまして、世帯の手取りの所得の半分を下回る人が貧困となっているんですけども、それを人吉市で出そうとするとき、一人一人の所得を見ながら手取り額を出すかっていうのができていません。離婚をしない方法とか、離婚しても手当だけでは、生活ができない現実もございますので、ここで書いてるようなサービスとかも利用していただけるようにということは、周知も含めてしていきたいと思ってます。

2点目、計画の見直しに関しましては、計画の中の74ページに計画の見直しという項目があつて、計画を策定する当時はわかっていたのであれば、当然見直しと考えております。事務局としてもいま出た意見は、持ち帰らせていただいて、盛り込むのかどうかも含めて、時間をいただければと思います。

3点目が、連携ですね。連携の計画は、そうですね。さっきの利用者支援事業もそうなんですよね。

幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、保健センター、いろんなところに連携したいがためにいろいろとまわっているんですけども、そういった計画、現段階では計画は考えてはいなかったのでも、そういう方向がいいかっていうのは時間をちょっといただきたいと思えます。例えば要保護児童対策及びDV対策協議会の中で、そういった関係機関を呼んで、話し合いをするとか、そういうのも考えら

れるかなと思いますので、代替できるものはそういう風にしたいと思います。でよろしいでしょうか？

4点目、見直しの件ですよね。見直しの件は74ページにありますので、みなさんに諮っていただいて、そういう方向で変えた方がいいということであれば、変えることはできるということです。

以上です。

会 長 : ありがとうございます。
そのほか何かありませんか。

眞田委員 : 保育園保護者連絡協議会です。

九ちゃんクラブの方が水曜日と土日以外ということで、保護者としては相談するとしても土曜日日曜日が一番時間が取りやすいんですね。それと、もう1点あの、両親学級の方、こちらも平日の昼間の時間帯ですよね、いつも行われているのは。自分ちよつと子ども4人いるんですけど、4人とも参加はできてないんです。結局仕事の都合というのがなかなかつけれないので、できればまあ、夜間にしていただくなり、土日にしていただければ、これ以上の出席率も見込めるのかなあと思うんですけども。この辺の検討もしていただきたいと思います。

事務局 : はい。九ちゃんクラブの件はですね、確かにおっしゃるとおり、利用時間10時から4時までなので、なかなか利用は難しいのかなと思います。九ちゃんクラブに設置したのは、計画を策定する際の意見に市役所は聞きにくい等、意見があったからなんです。もしそういう状況であるならば、わたしたちをつかまえていただいて、夜来ますとか、土曜日がいいとか、話していただければそれには対応していきたいと思います。

眞田委員 : 保護者の方からこういった相談したいんだけどこちらの方に連絡していただいて、時間の調整をさせていただくという方向性でよろしいのでしょうか。

事務局 : はい。お願いしたいと思います。

会 長 : ありがとうございます。

事務局 : よろしいでしょうか。
保健センターの大柿と申します。

両親学級の件につきましては、以前からやり方とか、時間帯とか、曜日とかいうのは以前から検討していたところでございます。父親の参加率というところは、少ないのは間違いないと思いますので今後また検討する材料の一つとしてさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

会 長 : そのほか何かありませんか。

松舟委員 : 資料1ですね。12ページの30番 児童館代替施設の整備 これは進められるということなんですか？。

事務局 : 新しい計画の中には盛り込みませんでした。5年間で達成できなかったのもあるんですけど、27年度からの計画には入れていません。規模にもよるとは思うんですが、なかなか雨の日の遊び場所という点で児童館とかがほしくて要望が以前の計画のときにはあったんだろうと思います。なかなかちょっと代替施設を探しきれなかったのが現実的にいききたいなと考えて入れませんでした。

松舟委員 : 実は今年8月ですけど、北海道の方でPTA大会に参加して、そこで児童館を中心とした地域づくりの話の部会に参加したんですね。そこでその職員さんが地域コーディネーターになって動けるという状況にあったもんですから。うーんと思って帰ってきたところですよ。どうなのかなと。

事務局 : そうですね。ひとつはその認定こども園に移行される園というのは、地域に開かれた施設でなければいけないと、市全体としても児童館というのは難しいにしてもですね、各校区に一つ認定こども園が誕生すれば、その一面を、そういったものにていうのか考えられるかもしれません。そういうものも、認定こども園にはお願いができないかなとは思っております。あと、一時的に預かっていただけのサービスとかですね、そういうのも今後は、話していきたいなという風には思っています。

会 長 : よろしいでしょうか。

わたしあの公民館連絡協議会ですから各コミセンもときたま雨の日なんか親子連れあるいは祖父母、利用に来られます。ちょっと放課後、保育園が終わったあと遊び場所がないということで。そういうところの利用、いろいろちょっと考えれば。そのかわり空いてると

き、いまのところ、1時間いくらか料金払ってのご利用ですけれども。子どもたちのそういった、コミセンは6校区ありますので、今後利用のご検討いただければまた、空いてる時間なんか見られたらと思いました。

何かほかに。

予定されている議題の方は、以上でございますけれども時間の方もだいぶ熱心に、1時間20分ぐらいたっております。が、全体とおして何かございましたら。ないようでしたら、わたしも議事の方を終わらせていただきたいと思います。ありがとうございました。

事務局 : ありがとうございました。

それでは3番のその他ですけれども、この子ども・子育て会議は年に2回ぐらい開催したいと思えます。今の時期と、できれば、1月の終わりか2月ぐらいに先ほど言ったあの、進捗状況のご報告をさせていただきたいと思っております。またあの、ご案内をいたします。ご協力の方よろしく申し上げます。

それでは、本日は、長時間に渡り、ご審議をいただきまして大変ありがとうございました。以上をもちまして平成27年度第1回人吉市子ども子育て会議の方を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。